

2017年 8-9月号

通号69号

# 障がい学生支援室だより

学生総合支援センター 障がい学生支援室 発行



みなさん、こんにちは。

さて、障がい学生支援室には、7月から新しい先生が着任されました。今月は、着任3ヶ月目の池谷 航介先生のインタビューからスタートです。

ULTRA ACTIVE 障がい学生支援室 いけたに こうすけ 池谷 航介 先生

## ◆Q:「子どもの頃は、どんな様子でしたか？」

子どもの頃から好奇心が旺盛で、いたずらばかりしていました。結果、いたずらということで叱られることになるのですが、ぼく自身は「絶対、うまくいく！」と思ってやってきたことばかりだったんだけど。映りの悪いテレビの裏側を勝手にドライバーで開けて、一切映らなくなったりとか、～～したりとか、\* \*したりとか、「ちょっと考えたらわかるでしょ！」って、頻繁に親から言われていたことを思い出します。てゆうか、それしか思い出しません。ですけども、後々になって我ながら感心するのは、深刻なことを忘れる能力だけは一級品ということです。どんなに大きな失敗をしでかしても、次の日にはすっかり忘れて新しい失敗を重ね続けてきました。

こんな、「石橋は壊れる前に渡りきろう（たまに落ちたけど。）」という性格のまま 40 余年過ごしてきたことで、あんまし賢くはなりませんでしたが、ドラマチックな経験がいっぱいできた半生だったと考えています。では、残りの人生は少し落ち着いて?? 否、きっとまた、考えるより先に行動して、失敗をたくさんするんだろうな～と思っています。「失敗は成功の種」というありがたい言葉があって、ぼくは、いくらか慰められましたが、もし本当にそうだとするならば、ぼくは、今頃スティーブ・ジョブズくらいには、成り上がっている筈です。ちょっと失敗が過ぎたのかもしれませんがね。



## ◆Q:「どんなことに興味がありますか？」

そんな訳(?)で、現在でも ACTIVE に、いろんなことに取り組んでいます。大学のお仕事は、多様なチャレンジができるので、大好きです。社会的に不利(バリア)が生じているという事柄全般に対して、「なんでやねん！」と言ったり怒ったり悩んだり考えたりすることが、ぼくの研究領域ということになるのかな～と思っています。ですので、その範疇にあること、例えば「障がい」についてのこと、社会に潜む「貧困」といったこと、拭いきれない「差別」ということ、そういったものろろについて、ほんのちよっぴりでも、自分のような人間にでも、なんかしらできることがあるんじゃないかと思ってきました。

それから、お仕事以外のプライベートでは、これまたいろんなことに取り組んでいます。ちょっと答えきれないかもしれませんが。アウトドアなどでは、神戸の自宅の裏に「六甲山」があるのですが、時には走って、時には自転車に乗って、時にはテントを担ぎ、時にはヘッドライトをともし、時にはバーナーとコッフェルとコーヒー豆を携えて、暇を見つけては分け入ります。たまには、さらに高い頂を目指して信州あたりに乗り込みます。また、たまには「王滝 100km」という MTB のレースに出場してみたりします。さらに、たまにはラフトボートという携帯式のパドルボートで川をくだりに行きます。そのまま海に出て、浮き釣りでメバルをねらうこともあります。インドアなどでは、ROCK・JAZZ・BLUES 等の音楽鑑賞、ラジコンの作成、MONTYPYTHON 等の系譜に連なるナンセンス映画の鑑賞、深夜アニメの批評、、、あ、もし他にも面白そうなことがあるなら、ぜひ教えてくださいね。

## ◆Q:「岡大生にひとこと！」

「とりあえず食ってみよう！不味ければ吐き出せばいい（たまに毒でシビレたけど。）」、というのがぼくの人生信条です。今という瞬間は、これっきですので、やらずに後悔するよりは、やらかしてしまって反省するほうがいいと思っています。大学生までくると、もう自分の進路は狭まってきたと感じる人も多いかもしれません。けれど、30 歳 40 歳超えてからでも、まだまだ新しくはじめられるなにかしらは、山のようにあると感じています。

モトリウムという表現は好きではありませんが、学生時代という猶予期を有効に使って挑戦したことは、その結果がどうであれ、全て今後の糧になると考えます。臆せず、躊躇せず、いろんなことに飛び込んでほしいなと思っています。進んでいくと、険しい岩稜や深い谷間が行く手を阻むかもしれませんね。そんな時は、是非、「障がい学生支援室」へ！バリア解消を専門とするべくとともに、乗り越え方を考えましょう！

## ご案内

### ノートテイク（NT）養成講座

- 日 時：平成 29 年 9 月 20 日（水）14：00～15：30
- 場 所：お申込みくださった方には、追って個別にご連絡いたします。

#### 募集中

ノートテイクとは、聴覚に障がいをもった学生に、講義内容や先生のお話をノートパソコンを使用して伝えることです。（手書きの場合有）

10 月から 3 学期が始まります。みなさんのお力をぜひ貸してください。  
あなたもノートテイク者になりませんか。

#### 申込方法

本講座は、下記連絡先まで必ず事前にお申し込みください。  
メール（shien-dr@okayama-u.ac.jp）でのお申込みの場合は、  
「氏名・学部・学科・学年・学生番号・電話番号」をご記載ください。

## 報 告

### オープンキャンパスでの活動 —障がい疑似体験・支援体験—

8 月 5 日（土）6 日（日）のオープンキャンパスで、障がい疑似体験・支援体験のブースを設け、高校生に障がい学生の修学面での困難さや、支援の重要性、有用性について、体験してもらいました。

当日は、障がい学生支援室のバリアフリーサポーターやノートテイク者のみなさんが、ビラ配りや勧誘、疑似体験・支援体験での高校生への対応、メッセージカードの作成などで、活躍してくれました。

また今年度は、「アクセシビリティ実習」（教養教育科目、毎学期に開講）の履修生の皆さんに、聴覚障がい学生へのインタビュー実施、およびその内容をまとめたポスター作成をしてもらい、当日そのポスターの掲示をしました。



## ご案内

### アクセシビリティリーダー（AL）資格 取得に関する説明会

- ◆日 時：平成 29 年 9 月 28 日（木）12:30～13:00
- ◆場 所：お申込みくださった方には、追って個別にご連絡いたします。
- ◆対 象：岡山大学在学学生、教職員
- ◆申込方法：  
「氏名・学部・学科・学年・学生番号」（教職員の方は、氏名・所属名）を  
障がい学生支援室（shien-dr@okayama-u.ac.jp）まで  
必ずご連絡ください。

#### ★AL 資格をゲットするには・・・★

AL 資格には、1 級と 2 級の二種類あります。AL 資格の教育課程には、それぞれの級に必要な STEP を受講した上で、認定試験に合格すると、AL 資格を取得することができるコースがあります。2 級資格は、オンライン講座を受講すれば、どなたでも受験資格を得ることができます。

AL 1 級の資格取得には、「障がい学生支援入門」（3 学期の木曜 5・6 限に開講）を履修する必要があります。

アクセシビリティリーダー資格については【2017 年 4 月号】  
「障がい学生支援入門」の詳細については 【2017 年 5 月号】をご覧ください。

岡山大学  
学生総合支援センター  
障がい学生支援室

- 【場 所】 一般教育棟 D 棟 1 階
- 【開室時間】 月～金：10:00～12:00／13:00～17:00
- 【連 絡 先】 086-251-8553（支援室受付）
- 【E-mail】 shien-dr@okayama-u.ac.jp

